



季節の花チューリップ

一生勉強 一生感動 一生青春 (第64号)

令和六年度の総会開かれる
四月二十五日(木)
午後一時から、アオツサ七階七〇六号室で、今年度の総会が開かれました。ここで、昨年度の決算報告と今年度の予算を酒井会計担当委員が、今年度の事業計画全体を吉岡副会長が、主要行事を大野企画委員長がそれぞれ発表しました。発表内容の概要は以下の通りです。
まず酒井会計担当委員は、決算報告で、

令和五年度の決算報告

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes income from subsidies, membership fees, and expenses for rent, insurance, and utilities.

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes expenses for rent, insurance, and utilities, and a summary of the budget for the next fiscal year.

Table with 2 columns: Item, Amount. Summary of the budget for the next fiscal year, showing a surplus of 487,845 yen.

Table with 2 columns: Item, Amount. Budget for the next fiscal year, including subsidies and membership fees.

Table with 2 columns: Item, Amount. Budget for the next fiscal year, including expenses for rent, insurance, and utilities.

Table with 2 columns: Item, Amount. Budget for the next fiscal year, including expenses for rent, insurance, and utilities.

福井いきいき会新聞

2024年5月
発行：福井いきいき会
福井市中央1-9-29: 0776-28-6464
発行責任者 吉岡副会長

収入は前年度の繰越金を加えて百五十三万二千七百円、支出は百四十四万四千六百二十二円、今年度の繰越金は、四十八万七千八百四十五円で前年度より若干減少したこと、主要な収入は、市からの補助金と、サークル参加費ですが、後者は、ほぼ予算に近い七十七万三千七百円であったことを報告されました。この金額は、一年間で七千七百三十七人が当会のサークルに参加したことを示すもので、素晴らしい成績でした。また、今年度の予算は、ほぼ昨年度並みに設定したことも報告されました。

大野企画委員長は、今年度の主要行事は、ほぼ昨年同様とし、時期未定ですがサークル活動の発表会を、アオツサの六階のレクルームで開催すること、秋には、魚津埋没林博物館・雨晴海岸の見学と国宝瑞龍寺参拝をする日帰り旅行実施すること、恒例の新年会も来年の一月にアオツサのウエルアオツサで行うことを発表されました。

吉岡副会長は、外部講師や会員による例会時の講演を充実させること、三つ増やした二十七のサークル活動をより魅力あるものとして、新入会員入会にも寄与するものにしていくこと、よろず茶屋の美化、設備や事務局の業務改善を行うこと、地域への貢献として、芸能クラブの公演や卓のチャ

令和六年三月の例会講演の概要
「愛される県民鉄道をめざして」
講師：ハピライン社長 小川俊昭氏
三月十六日、北陸新幹線の敦賀までの開通と同時に



講師の小川社長

Calendar for May 2024 (令和6年5月の行事予定表) listing dates, days of the week, venues, and event names like '有志投資銘柄討論会' and '映画鑑賞会'.

令和六年五月の行事予定
例会講演
「山は楽しいです。楽しんで愉しんで」
講師 登山専門店店主 服部佐和子氏。
兵庫県南部出身の服部さんが、福井に来られるまでは、雪が降ることは想像もつかないほど珍しく、不安もあつたそうです。それなのに、冬の雪を好きになつたのは山登りや雪山登山を始めてからで、福井の冬も心に残る風景となりました。登山の楽しさをお話になります。

易しい科学の話
磁石とその応用
磁石は、鉄をくっつけるが、銅やアルミはくっつかない。磁石は自動車や電気製品に使われているというが、それはどこにある？また、地球も大きな磁石で、生命体を守っているらしい。なぜだろう。その原理は？そんなことをお話しします。
講師、吉岡副会長

映画鑑賞会
五月からは、アジアの映画を加えて、月三回の開催になりました。五月七日の洋画は、ワタリドリ、デズニーマン、宇宙戦争。下の小中大名によって分割配された。関ヶ原の戦後初めて徳川家康の次男：結城秀康が六七万石の知行を得て来福、北庄城を大改築して初代福井藩主として越前松平家を興し、三十四歳で没するまでの経過を皆さんと一緒に顧みたいと思います。
講師 大野 勉氏

インターネット世界旅行
台湾の台南、台中へ行ってみよう
台南は、ノスタルジックな街並み、街に点在する名所旧跡、美味しい台南グルメなどで人気の観光地です。台中は、カラフルなスポーツ・彩虹眷村や、台湾のウ



台南の彩虹眷村



コウノトリ 鯖江でふ化「福井新聞より」

来た！コウノトリ

佐々木晃一

昨今はコウノトリの話題

紙芝居などいろいろな創作の趣味の話をしていただくことにきまりました。
チャレンジパソコン
吉岡 芳夫
県のチャレンジ応援事業へ応募する予定で、習得目標として、(一)パソコンの立ち上げ、メールやり取り、文書の印刷をマスターするグループ、(二)エクセルで行事予定表などをつくるグループ、(三)パワーポイントというソフトで動画紹介の資料などを作るグループ、(四) AIなどの利用の仕方学ぶグループなどを作りました。各自がそれぞれのグループに入って目標を達成できるよう講師が、個別指導の形で指導していくことにしています。

がマスコミ等で取り上げられていますが、私の住まいからなんとわずか車で五、六分の鯖江市吉川地区の人工集塔で平成四年に一羽の縁で「吉川コウノトリファンクラブ」が発足し、私も地区外会員として加入しています。そして令和五年に四羽、今年は一羽雛がかえりました。
喜んでおりましたところ、これまた意外にもと言うか、当然と言うか、前記吉川地区の雛の親鳥と思われるコウノトリが私の住まいの鯖江市豊地区の田んぼに二羽降り立ちました。それは四月六日でしたが車で走って見たところ、尾羽根の真っ黒なサギより大きな一目でコウノトリとわかる鳥がくちばしを突っ込んで餌をあさっていたので、思わず手を打ちました。今年福井県でコウノトリの雛がかえっているのは、小浜市国富地区、越前市白山地区、今まで述べました鯖江市吉川地区の三ヶ所のみです。
コウノトリは特別天然記念物であり、美術品で言えば重要文化財の上の国宝に相当する生き物で、自然界の生態系の頂点に立つ鳥類です。ということは私の地区

は生物多様性を育てる環境が豊かである証しとも言えます。(だから豊地区?)
兵庫県豊岡市は昭和四十六年に日本最後のコウノトリが絶滅した地でもあり、これにちなんで「県立コウノトリ郷(さと)公園」が整備されていますが、ここで平成十七年に秋篠宮殿下をお迎えしてロシアから送られたコウノトリの野生復帰の放鳥式典が行われて、私も見学しました。
福井県では昭和四十五年、越前市白山地区にくちばしの下側が折れて餌も取れず衰弱したコウノトリが飛来し、「こうちゃん」と名付けて地区の住民をあげて見守り活動に取り組んだことがありました。実は私の両親も私を昔から「こうちゃん」と呼んでいたのです。縁でコウノトリに興味を持つようになったのかと思います。それは冗談でしょうとコウノトリが笑っています。

川柳同好会
令和六年四月の優秀句
「いつ死んでも」言うが
忘れずサプリ飲む
高谷三恵子
イノシシと熊どんどん
増える 恐竜も
山田 良彦
高齢者 偶数月は
みんな好き
小坂 武士
インパルス今か今かと
待つ人出
南部 歳子
福井にも 新幹線と
フルマラソン
澤村 玲子
いい嫁や生きてるうちに
言わなあかん
上坂 征夫
ウォーキング 吐く息
吸う息荒くなり
増永 一夫
お腹肉切って捨てたい
にくにくし
吉田美恵子
出ないんだ何が出ないの?
川柳サ
大野 勉
もう少し生きてみたいの
髪染めて
新田ヨシエ
古い自覚易しい漢字が
書けぬとき
吉岡 芳夫
山川草木振り向け見れば
みな浮世
小林 久子

ご寄付の報告
この度、会員の澤崎和子様より、亡きご主人が愛用されていた新品同様のオーディオセットと、クラシックをほしめとして色々なジャンルのレコード集数編のご寄付をいただきました。
これまでよき茶屋で使っていたオーディオ装置は、時々CDの再生できなかつたり、カセットテープがかけるようになっていましたので、ご寄付は大変ありがたかったです。会として厚く御礼を申し上げる次第です。
四月二十三日(火)に開かれた音楽鑑賞会では、早速ご寄付いただいたオーディオセットを使われましたが、素晴らしい音響で音楽を鑑賞できたこと、主宰者や参加者らが感謝していました。
また、お申し出で澤崎様の見事な日本画の作品「鯉」も、よき茶屋の部屋に飾らせていただきました。



寄贈されたオーディオ装置



ハピラインの列車

者になっていきます。資本金は二十六億二千三百円で、県、全市町、民間企業などが出資しています。杉本県知事が会長、県庁出身の小川氏(本日の講師)が社長としてスタートしています。
運賃については、JR時代より若干高いけれど近隣県並みの水準としました。運賃の値上げ抑制と経営安定化のために、七十億円の「福井県並行在来線経営安定基金」を設置しています。
開業にあたって、事前に綿密な利用促進策を立てました。まず、運行本数ですが移管を受ける前のJRでは、一日の普通列車の運行本数が百二本でしたが、これを、百三十一本と二十九本多くしました。内容は、普通列車の二十本増便と快速列車九本の新設です。また、福井駅発の電車は、従

来の一時間に一本だったものを二本にし、かつ発車時刻を毎時三十八分と五十三分に統一して覚えやすくしました。
開業後好評なのは、新設した福井・敦賀間の快速列車で、所要時間を四十分にし従来の特急の三十分近づけたこと、運賃は千四百円で、北陸新幹線の三千二百六十円に比べて大幅に安い点が評価されています。ただ、新幹線は、所要時間が二十一分なので、時間的には及びません。福井駅・敦賀駅でのJR線とのスムーズな乗り継ぎにも配慮しました。その他の利用促進策として、新駅の設置を行います。鯖江・武生間、武生・王子保間、それに福井・森田間で、いずれも現在の区間距離が四kmを超える区間を選びました。
これらのほか、最寄りの駅付近の駐車場に駐車して、電車で目的地に向かうパークアンドライド駐車場の整備拡充や、北陸三県横断の観光列車の運行、イベント列車、観光地との連携、福井鉄道・えちぜん鉄道との連携、そして駅を中心にしたまちづくりにも協力していきます。

また、顧客サービスとして、列車在線位置システムを導入、ICOCAカードや一日フリー切符の販売、オリジナルお徳なファンクラブの会員募集などについても話されました。講演後、会場からは多くの質問があり、それぞれに丁寧にお答えされていました。
以上のように、地域に愛される県民鉄道を目指すハピラインの意気込みがひしひしと伝わる講演でした。
文責 吉岡
新三サークルがスタート
おしゃべりサロン
以前、「おしゃべりランチ」に参加されていた方も多いのではないのでしょうか。実は私も「おしゃべりランチ」のファンでした。受付時にくじを引いて席が決まるので、時には初めましての方と同席することもありました。ランチの前には主宰者の井上さんがとても面白いお話しをして下さいました。色々な方から、私の知らない話や、違う考え方を教えて貰える新鮮な場所でした。コロナが明けて復活を願ったのですが、ラ

ンチという事の難しさから叶いませんでした。それは「喫茶」という形にしたという話しに「それは良いな」と、思わず手を上げていました。こんな経緯でしたが、趣旨は気軽に色々な方と色んなお話しが出来場所を作りたいという事です。一人で家に居てもつまりません。よろず茶屋に足を運んで、仲間と笑い合おう。その方がずっと楽しいですよ。昔は個人経営の喫茶店が沢山ありました。それそれぞれ個性的でマスターの拘りがあって、訪れる事が楽しかった。そんな空間が目標です。「コーヒーにしますか?それとも紅茶が良いですか?」ちよっとしたお菓子を付けて、三百円で営業しています。第三火曜日、十時開店です。十六日の初日には手探りの状態の中、十名の会員さんがご来店くださいました。応援



おしゃべりサロン

して下さるお気持ちがとても嬉しかったです。有難うございました。旅行、健康、生き方、趣味、科学など、話しが尽きませんでした。次回五月二十一日も十時より沢山の方のご来店をお待ちしています。皆さんと一緒に憩える場所を作っていく為にご提案などお待ちしております。
私の趣味
吉岡 芳夫
第一回目のサークルでは、主宰者が、このサークルでは自分の趣味を大いに自慢して話してほしいと前置きしたあと、参加者の趣味に関するアンケートを書いていただくと共に、ごく簡単に趣味の内容を話していただきました。それぞれに対する質問もあり、自分の関連趣味についても話されました。時間が少し余ったので、主宰者は、三年前に「高齢者の暮らし方研究会」でお話した「続いている趣味」の資料をプロジェクターで投影して紹介しました。
そして、次回、五月八日(水)には、小坂武士さんに、自転車による中国でのサイクリングなどのお話を、また、山口悦子さんには、